市報やまぐち

2015
9/1
September
No.238

Web サイト　http://www.city.yamaguchi.lg.jp/
e-mail　koho@city.yamaguchi.lg.jp

第28回全国健康福祉祭やまぐち大会
ねんりんピックおいでませ！山口2015
平成27年10月17日(土)～20日(火)

特集　助け合い、認め合い、世界を学んだ　世界スカウトジャンボリー
表紙　新山口駅の通路が緑の空間に

角一化成株式会社が鋳銭司団地に進出決定

自動車や家電向けのゴム・プラスチック製品の製造を行っている角一化成株式会社（本社大阪府大阪市）が、鋳銭司団地に進出することを決定し、7月27日に山口総合支所で本市と進出協定調印式を行いました。

調印式で市長は「工業用ゴム、プラスチック製品の製造において、デコレーションプラスチック等、常に新しい技術開発に取り組まれている御社に進出をご決断いただき御礼を申し上げる」と述べました。また、角一化成株式会社の小島代表取締役社長は「雇用と市の発展にお役に立てればと考えている」と述べられました。

新事業所は、平成28年2月に操業開始予定で、今後地元を中心に15人が雇用される予定です。

今回の進出で、鋳銭司団地への進出企業は19社、分譲率は約91・5％となります。

問 産業立地推進室☎０８３・９３４・２８１３

左から市長、金子県企業立地統括監、小島代表取締役社長

新しくなったちょうちんツリーをお披露目

8月6日、恒例の山口七夕ちょうちんまつりが開催され、新しいちょうちんツリーの点灯式が一の坂川交通交流広場で行われました。

ちょうちんツリーは、第31代大内義隆が、フランシスコ・サビエルのキリスト教布教を許し「山口で日本初のクリスマスミサがあった」との史実にちなみ、平成11年から始まりました。

新しくなったちょうちんツリーは、LEDを使用した、前回よりもコンパクトな高さ8ｍの自立式のものです。これは「山口七夕ちょうちんまつり」と「日本のクリスマスは山口から」を全国にPRするため、輸送や設置が簡単になるように設計されたためです。

このちょうちんツリーは、今後もさまざまなイベントで目にすることができるようになるということです。

問 山口商工会議所青年部☎０８３・９２５・２３００、観光課☎０８３・９３４・２８１０

点灯されたちょうちんツリー

Explanation about the planting work by elementary school students, and profile of Patrick Blanc.

表紙 新山口駅の通路が緑の空間に

問 ターミナルパーク整備部建設課 ☎ 083-973-2440

表紙の写真は、7月13日（月）、JR新山口駅に建設中の南北自由通路内に制作される垂直庭園に、パトリック・ブラン氏と小郡南小学校３年生92人が植物の植え込みをしたときの様子です。

同庭園は、主に市内で採取された約150種の植物を、山口の里山に見立てて通路の壁面に設置するもので、世界的に著名な植物学者兼芸術家のブラン氏の作品です。壁面は縦約３～５メートル、横約100メートルに渡り、同氏の作品としては国内最大級の大きさで、壁の上部にある吹き抜けやトップライトから日光が差し込む構造になっています。

植え付けに参加した男子児童は「これから植物が成長していくのを楽しみながら通学できる」と目を輝かせていました。またブラン氏は「身近な里山に自生する植物を学べる場にもなる。貴重な自然環境を多くの人に見てもらいたい」と話していました。

新山口駅南北自由通路および橋上駅舎の供用開始は10月３日（土）からです。

垂直庭園の植物が大事にされ、新山口駅の施設が次世代に受け継がれていくことを期待しています。

植え付けが終わった南北自由通路を歩く小郡南小3年生の児童◀

パトリック・ブラン（フランス・パリ）

植物学者にして、アーティスト。熱帯雨林の下層部に生息する植物の研究が専門で、垂直庭園の概念の発明者。フランス国内の美術館やホテル、橋など数々の作品を手がけている。

n